

中野四季の森公園における芝生育成環境改善の取組について

中野四季の森公園の芝生エリアは、これまで適切に維持管理してきたが芝生の生育が芳しくない状況である。

このため、今後の芝生の管理に関する検討を行うことを目的とした、令和6年度の芝生育成環境に関する調査結果、及びその調査結果に基づく令和7年度の試験施工について以下のとおり報告する。

1 令和6年度調査及び調査結果の概要

(1) 調査概要

芝生の生育が芳しくない原因を把握するため、生育状況、生育環境、利用状況に関する調査を行った。

① 生育状況の調査

芝生の種類・範囲・状態、病虫害状況

② 生育環境の調査

日照条件（照度、日影等）、土壌環境、排水施設状況

③ 利用状況調査

利用者の活動内容の傾向や、摩耗の影響が強いとされる行動の有無

(2) 調査結果概要

- ・芝生の地下茎及び根の発達が少ない。病虫害の発生はみられない。
- ・夏季の照度は問題無いが、建物の影響により特に冬季において日照時間や地温上昇が不足している。
- ・埋設の排水施設の機能に問題はみられない。
- ・芝生に適した土壌である砂質土が少なく、コンクリートやレンガ等のガラや不純物が多いため、排水性、保水性が弱く土壌が固結しやすい。
- ・日常的な利用、イベント時の利用による踏圧で、芝の擦り切れや土壌の固結が発生している。

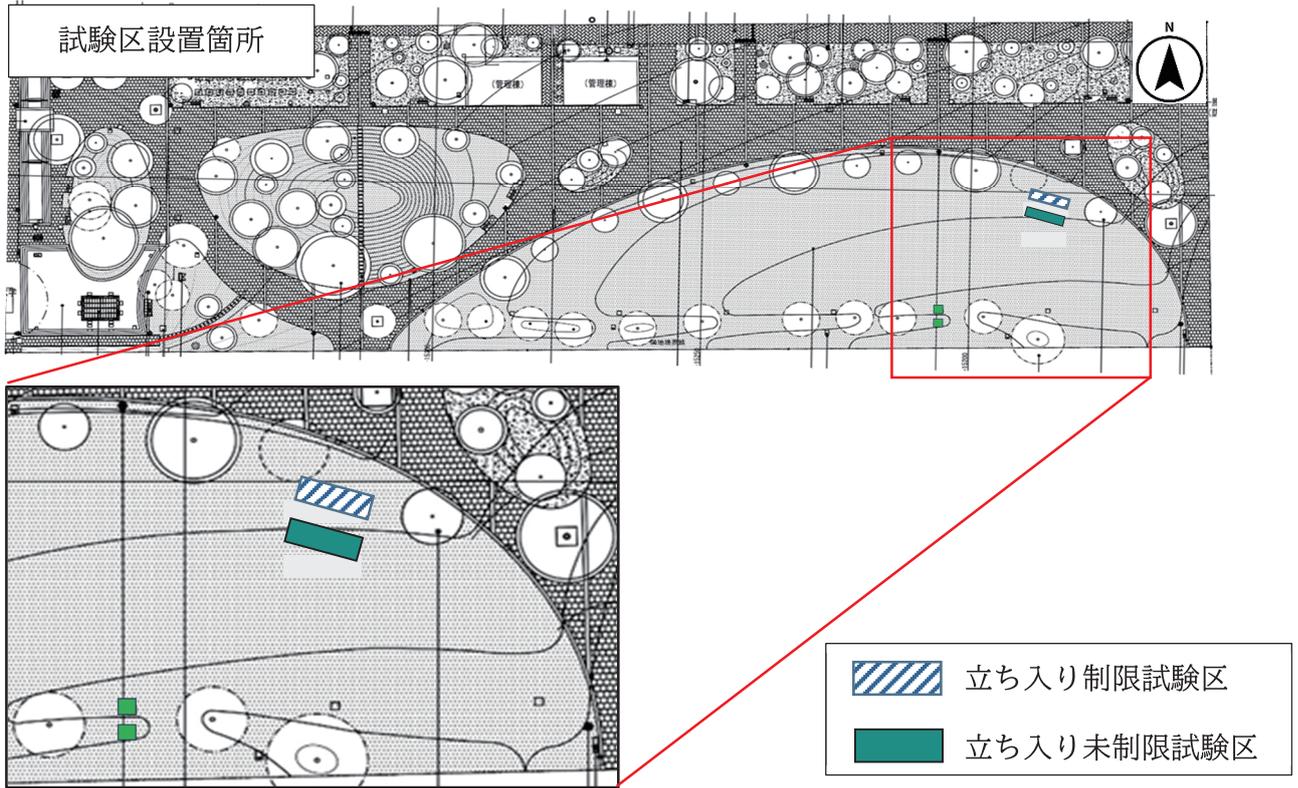
2 試験施工の概要

(1) 試験概要

令和6年度の調査結果を基に、芝生エリアの一部に試験区を設け、別紙のとおり芝種、土壌、及び利用環境を複数パターン組み合わせる試験施工を行う。

(2) 実施時期

令和7年5月下旬から令和8年3月中旬まで



試験パターン

	2.0m	2.0m	2.0m	2.0m
1.0m	A-1 ティフトン芝 (張芝) +ライグラス(播種)	B-1 ノシバ (張芝) +ケンタッキーブルーグラス播種	C-1 ティフトン芝 (張芝) +ライグラス(播種)	2.0m
	A-2 ティフトン芝 (ストロン) +ライグラス(播種)	B-2 ノシバ (張芝) +ライグラス播種	C-2 ノシバ (張芝) +ケンタッキーブルーグラス播種	

断面図

	A-1	B-1	C-1
150	砂+完熟たい肥30%	砂+完熟たい肥30%	砂+完熟たい肥30%
350	徐礫+黒耀石パーライト20%	徐礫+黒耀石パーライト20%	無改良
	A-2	B-2	C-2
150	砂+ヤシガラ改良材30%	砂+ヤシガラ改良材30%	砂+完熟たい肥30%
350	徐礫+黒耀石パーライト20%	徐礫+黒耀石パーライト20%	無改良